



高田 康子
(新風会)



三嶋大祭りのふるさと納税観光としての活用

Q ふるさと納税で、三島の歴史・文化の資源を活用して、三嶋暦やプレゼント型返礼品にできないか。

A 三嶋暦をふるさと納税返礼品として取扱うことは、三島の歴史・文化を発信するうえで、意義を持つものと考えており、実現に向け協議を進めていく。また、プレゼント型返礼品についても、今後さらに充実を図っていききたい。



小冊子、通いの場マップの有効活用は

Q 高齢者外出支援として、運転免許証返納者へ高齢者運転免許返納支援補助券とともに通いの場マップを一緒に渡してはどうか。

A 高齢者運転免許返納支援補助券と併せて通いの場マップを提供することにより、公共交通機関の利用促進と地域住民との交流機会の増加につながることを期待できるため、関係部署と連携し当該マップの配布を実施していく。

他の質問事項

頼朝行列の頼朝役に女性を起用する可能性は



野村 諒子
(新風会)



放課後児童クラブの利便性の向上と環境改善

Q 保護者の就労条件は、通勤も含め午後1時から3時間以上とあり、勤務終了時間が午後2時、3時では利用できない。改善できないか。

A 条件の緩和については、待機児童の発生につながるのではないよう慎重に検討していく必要があるが、施設の拡充や一層の支援員確保を図りつつ、他市町の状況を参考にしたり綿密なシミュレーションを行ったりするなど、調査・研究を進めていく。

Q ークラブ40人の定員では、夏期や雨の日の居場所として適切な環境とは言えない。学校の図書室や体育館等を空室時に利用できないか。

A 現在においても体育館を放課後児童クラブの児童が利用している学校はあるが、本市の放課後児童クラブが一層子どもたちの快適な居場所となるよう、引き続き、学校の協力を得ながら、図書室や体育館のさらなる利用拡大を図っていく。



本間 雄次郎
(覚悟の会)



三島駅南口東街区再開発事業

Q 建設されるホテルの必要性の判断のため、三島駅西街区の東急ホテルの事業効果確認をすべきと考える。どのようなチェックをしているか。

A 市内の宿泊客数は、3年連続で過去最多を更新する見込みで、宿泊需要は好調を維持しており、西街区においても客室稼働率は好調と捉えている。広域観光交流拠点として、ツーリストラウンジも設置されており、公募時の要求水準を一つ一つチェックしている。

新庁舎整備事業における大場川氾濫リスクは

Q 平成10年、大雨による大場川氾濫が起き、警察署横も河岸浸食が起きた。その上で、新庁舎を南二日町に移転するリスクはないか。

A 浸食の原因とされる河床洗堀の解消対策や、のり面を保護し崩壊を防ぐ対策は県が既に実施済みである。この対策により、平成10年以降、集中豪雨による護岸浸食被害はなく、南二日町広場周辺における護岸被害リスクは既に改善がされているものととらえている。



他の質問事項

新庁舎整備事業の計画修正の可能性は



古長谷 稔
(改革みしま)



伊豆ファン倶楽部の再構築と持続可能性

Q アプリ利用が広がらない現状を踏まえ、持続・自立を目指して仕組みの再構築が必要と考えるが、市の見解と今後の方針を伺う。

A 伊豆ファンコミュニティを設立し、調達資金で特産品を開発し、ECサイトでの販売などで収益安定化を目指す。中長期的には伊豆ファン倶楽部ブランドを確立し、ロイヤリティ収入を得る仕組みも計画しており、事業の財政的自立と地域経済への貢献を強化する。



高齢者が負担なく自宅担保で耐震化できる制度

Q 本年9月より導入した高齢者が自宅を担保にすれば無利子で耐震化できる新制度について、対象戸数を踏まえた導入の意義を伺う。

A 耐震改修利子補給制度の「リバース・60」は手元の資金がないなどの理由から、自宅の耐震改修に対して後ろ向きであった高齢者の利用が期待される制度である。令和7年度末の耐震性のない木造住宅は約二千戸と推計され、これらの方々の制度利用が期待される。



沈 久美
(改革みしま)



父母の離婚に直面した子どもの数の捉え方は

Q 本市はひとり親家庭割合が全国平均を下回っているものの、父母の離婚を経験した子は少なくない。その数をどのように捉えているか。

A 父母の離婚を経験したこどもの正確な人数は把握していない。しかし、離婚に伴う環境の変化に直面することで経済的、精神的な困難を抱える可能性が高くなることが推察されるため、こどもの利益を最優先する視点を持ち、寄り添った支援が必要であると考えている。

77年ぶりの改正民法施行に向けた対応準備

Q 離婚後の共同親権や親子交流を含む改正民法施行準備として、「こどもまんなか」についての市独自のわかりやすい資料作成の予定は。

A 離婚後の家庭支援として市独自の「こどもまんなか」資料を作成することは、親自身が大人ファーストになりがちな考えや気持ちを整理し、こどもを第一に考え、こどもの心理的なケア等を考えるきっかけにつながると考えられるため前向きに検討していきたい。



他の質問事項

地域連携による持続可能なラジオ体操の実施は



弓場 重明
(覚悟の会)



『市長、本当に市庁舎、南二日町で良いのですか』第3弾

Q 市庁舎移転により市街地の人通りが減って、街並みが寂れる。活性化が損なわれて商店街の空洞化が起これと考えるが見解を伺う。

A 新庁舎整備は本市の飛躍的な発展につながるまちづくりの好機と捉えている。現在、跡地の活用を軸とした、まちなか賑わいづくりビジョンの策定準備を進めており、さらなるウォークアブルで多くの方々にぎわう魅力的なまちなか、中心市街地の活性化につなげていく。



Q 市役所の駐車場はいつ行っても混んでいるという10年前の話を今でも耳にする。年に数回の混雑時に周辺のミニ駐車場の活用ができないか。

A 本庁舎63台分の駐車場は週明けや週末、年度末・年度始などの混雑時等において、近隣のミニ駐車場の場所や利用方法の案内等が煩雑となるため提携、契約することは難しい。そのため、これまで同様に市営中央駐車場を案内し、利用時間分の免除で対応する。

他の質問事項

三島市総合計画の未来図再構築の可能性は